

# 第6次富士宮市総合計画策定に伴う

## 地区別懇談会開催結果とりまとめ

### 【目次】

|    |                              |    |
|----|------------------------------|----|
| I  | 開催結果概要について .....             | 1  |
| 1  | 開催概要 .....                   | 1  |
| 2  | 「富士宮市のまちづくりに期待すること」の整理 ..... | 2  |
| II | 地区別懇談会の開催結果 .....            | 6  |
| 1  | 第1回地区別懇談会開催結果報告 .....        | 6  |
| 2  | 第2回地区別懇談会開催結果報告 .....        | 8  |
| 3  | 第3回地区別懇談会開催結果報告 .....        | 11 |
| 4  | 第4回地区別懇談会開催結果報告 .....        | 13 |
| 5  | 第5回地区別懇談会開催結果報告 .....        | 16 |

令和6年11月

# I 開催結果概要について

## 1 開催概要

各自治区の区長に参加を依頼し、グループインタビュー形式にて、地域の現状と課題を把握するとともに、市政に対する要望を聴取した。

開催スケジュールならびに進行プログラムは次のとおり。

図 開催スケジュール

| 回 | 開催日  | 曜日 | 時間          | 会場        |
|---|------|----|-------------|-----------|
| 1 | 6/21 | 金  | 19:00-20:30 | 芝川公民館     |
| 2 | 7/2  | 火  | 19:00-20:30 | 市役所特大会議室  |
| 3 | 7/26 | 金  | 19:00-20:30 | 上野会館      |
| 4 | 8/7  | 水  | 19:00-20:30 | 大富士交流センター |
| 5 | 9/27 | 金  | 19:00-20:30 | 市役所特大会議室  |

図 プログラム

| 時間    | プログラム  |     | 担当    |
|-------|--|-----|-------|
| 19:00 | 開会あいさつ<br>総合計画の説明、地域の課題等について                     | 15分 | 市     |
| 19:15 | 主旨説明   | 2分  | ※MURC |
| 19:17 | テーマ①<br>地域の現状と課題について                             | 30分 | MURC  |
| 19:47 | テーマ②<br>今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として<br>想定されること | 15分 | MURC  |
| 20:02 | テーマ③<br>富士宮市のまちづくりに期待すること                        | 20分 | MURC  |
| 20:22 | 発表(1地区 1-2分)                                     | 5分  | MURC  |
| 20:27 | 閉会あいさつ   | 3分  | 市     |
| 20:30 | 閉会   |     | 市     |

※MURC=三菱リサーチ&コンサルティング株式会社(富士宮市総合計画策定支援業務 事業者)

## 2 「富士宮市のまちづくりに期待すること」の整理

各回で把握した意見を第5次富士宮市総合計画の分野ごとに整理し、各意見の論点を抽出・整理した。

| 分野   | 項目    | 把握した意見の論点   |
|------|-------|---|
| 環境   | 地球環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンクレジット導入による市の魅力向上</li> <li>太陽光発電施設の適正管理</li> </ul>  |
|      | 生活環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの清掃・回収問題への対応</li> </ul>  |
|      | 自然環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>山林の適切な管理の徹底</li> </ul>   |
| 産業   | 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>農地の活用(耕作放棄地対策、宅地への転用など)</li> <li>圃場整備された農地の規制緩和による活用促進</li> <li>耕作放棄地のスポーツ公園などへの転用</li> <li>所有者に対する耕作放棄地の適正管理に向けた勧告</li> </ul>   |
|      | 工業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>工場誘致への取組</li> </ul>  |
|      | 商業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界文化遺産センター、浅間大社等を活用した商店街活性化</li> <li>歩けるまちづくりに資する商店街活性化</li> </ul>   |
|      | 観光    | <ul style="list-style-type: none"> <li>富士山景観の活用(沿道草刈りなど)</li> <li>スポーツの全国大会誘致</li> <li>観光スポットまでのアクセス整備</li> <li>浅間大社の門前町としての商店街整備</li> <li>宿泊施設の整備</li> <li>長者山田貫神社の活用</li> <li>富士宮駅から商店街までの回遊ルート整備</li> <li>東京駅から富士宮駅までの直通電車の整備</li> <li>古い文化遺産の活用</li> <li>リニア開業を見据えた特急ふじかわの三島方面への接続</li> <li>湧水の活用と全国発信</li> <li>やきそば以外の多様な食の発信</li> <li>インバウンドへの対応(多言語化等)</li> <li>拡大するキャンプ需要の取り込み</li> <li>集客施設整備による観光客の誘致</li> <li>観光スポットまでのアクセス整備</li> </ul> |
|      | 労働・雇用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりと産業振興を同時に進める</li> <li>若者の転出を防ぐ産業振興</li> <li>企業誘致による若者の働く場所の確保</li> <li>若者の働く場所の確保</li> <li>人口増につながる働く場所の確保</li> <li>成長産業の誘致(データセンター、プログラマー)</li> </ul>  |
| 健康福祉 | 子育て   | <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの学費等に対する補助</li> </ul>   |

| 分野   | 項目            | 把握した意見の論点   |
|------|---------------|---|
|      | 医療            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急手術を執刀できる外科医の招致</li> <li>・ 産婦人科の維持・誘致</li> <li>・ 執刀できる外科医の招致</li> </ul>   |
| 教育文化 | スポーツ・レクリエーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者向けスポーツ施設の整備</li> <li>・ スポーツをテーマとしたまちづくりの推進</li> <li>・ 大会開催のできるスポーツ施設の整備</li> </ul>  |
| 都市整備 | 市街地整備         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパート・マンションの乱開発の抑制</li> <li>・ 調整区域の市街化編入による宅地整備</li> <li>・ コンパクトシティの推進</li> </ul>   |
|      | 幹線道路・交通網      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線道路拡幅によるアクセス性向上</li> <li>・ 都市計画道路の整備推進</li> <li>・ 交差点の渋滞対策</li> <li>・ 丁字路などボトルネック箇所の解消</li> <li>・ 西側地区の道路整備の推進</li> </ul>   |
|      | 生活道路          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 側溝への蓋など狭隘路の改善</li> <li>・ 道路の拡幅</li> <li>・ ボトルネック交差点の解消</li> <li>・ 身延線の高架化</li> <li>・ 右折帯の設置</li> <li>・ 橋梁整備による市役所へのアクセス改善</li> <li>・ 広域幹線道路の整備</li> <li>・ 拡幅や歩道など道路整備の推進</li> <li>・ 側溝への蓋など狭隘路の改善</li> </ul> |
|      | 景観            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山のビューポイントの情報発信</li> <li>・ 富士山が見えないときの世界遺産センターのサービス提供</li> </ul>  |
|      | 治山・治水         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水区域対策</li> <li>・ 土砂災害警戒区域の対策</li> <li>・ 避難場所までの安全な経路の確保</li> <li>・ 土砂災害警戒地域における避難場所としての高台整備</li> <li>・ 家屋の耐震化、家具転倒防止対策への市の支援</li> <li>・ 富士山の噴火対策</li> </ul>   |
| 市民生活 | 防災            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の災害を想定した防災訓練の実施</li> <li>・ 災害対策に対する市の支援</li> <li>・ 避難所で利用可能な自律型トイレの設置</li> <li>・ 土砂災害危険地域で安全に利用できる避難所の整備</li> <li>・ 富士山噴火警報時の観光客の避難誘導</li> </ul>   |
|      | 消防            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車両の拡充</li> </ul>   |

| 分野           | 項目       | 把握した意見の論点  |
|--------------|----------|--|
|              | 防犯       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐在の増員など防犯対策</li> <li>・ 交番の地域巡回の充実</li> </ul>  |
|              | 公共交通     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関の充実</li> <li>・ バス停へのアーケード型ベンチの設置</li> <li>・ 公共交通網の整備</li> <li>・ 身延線西富士宮駅－沼久保駅間への中間駅の設置</li> </ul>   |
|              | 住宅・住環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住・定住対策としての市営住宅の整備</li> <li>・ 道路、学校、医療、公共交通などの充実</li> <li>・ 市街化調整区域における分家住宅の規制緩和</li> <li>・ 高齢者の住まいとしての市営住宅の維持管理</li> <li>・ 市街化調整区域における住宅整備</li> <li>・ 移住者に対する農地転用による宅地利用の適用</li> <li>・ 高齢者住宅等の計画的な整備</li> </ul>  |
|              | コミュニティ活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民館の有効活用</li> <li>・ 地域課題の相談窓口となる団体の明確化</li> <li>・ 高齢者の引きこもり対策</li> <li>・ 子育て世帯に対する地域活動の啓発・啓蒙</li> <li>・ 子育て世代への支援(敬老会補助の転用)</li> <li>・ 老朽化した公民館を地域拠点として更新</li> <li>・ 自治会の枠組(区、町、班)の見直し</li> <li>・ 南部地域への中学校の新設</li> <li>・ 町内会長、区長の負担軽減</li> <li>・ 宮おどりの普及</li> <li>・ コミュニケーションの場の整備</li> <li>・ 広報ふじのみやなどのデジタル化</li> <li>・ 身体的負担の大きな地域活動の見直し</li> <li>・ 自治会加入の促進(意義・メリットの明確化)</li> <li>・ 自治会改革(女性役員登用)</li> <li>・ 子供会事業補助金の人数要件の緩和</li> <li>・ コミュニティ活動への補助</li> <li>・ 無料 Wi-Fi スポットの整備</li> <li>・ 回覧版の電子化</li> </ul> |
|              | 消費生活     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動販売の継続実施</li> </ul>  |
| 市民参加・<br>行財政 | 地方創生     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婚活イベント等の開催</li> <li>・ 上野エリアの魅力向上とその周知</li> <li>・ 移住者による空き家、商店街の活用</li> <li>・ 市内の人口バランスの是正</li> <li>・ 人口増加に向けた対策の検討</li> </ul>   |

| 分野         | 項目          | 把握した意見の論点   |
|------------|-------------|---|
|            |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業誘致や観光振興など移住者が増える政策の展開</li> <li>・ 農業等の担い手となる移住者の受入環境整備</li> </ul>   |
|            | <b>市民協働</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくりに関する市民と行政の対話促進</li> <li>・ 富士山と浅間大社を活かしたまちづくり</li> <li>・ 国際文化都市の具体化</li> </ul>   |
|            | <b>行政運営</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民サービスの利便性向上</li> <li>・ 市中心部への行政機関の集約</li> <li>・ 慎重な箱物整備の推進</li> </ul>   |
| <b>その他</b> |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の進捗状況の提示</li> <li>・ 富士宮市の将来ビジョンが必要</li> <li>・ 人口減少の原因分析と対策</li> <li>・ 住民説明会等におけるネガティブではなくポジティブな資料の提示</li> <li>・ 人口増加地域との比較分析に基づく取組</li> <li>・ 総花的な計画の回避</li> <li>・ 10年後の富士宮市の具体的な姿の提示</li> <li>・ 総合計画の一丁目一番地を人口減少と子育てにすべき</li> </ul> |

## II 地区別懇談会の開催結果

### 1 第1回地区別懇談会開催結果報告【芝川地区】

#### 【開催日時・会場】

日時：令和6年6月21日(金)19:00～20:30

会場：芝川公民館

#### 第1回地区別懇談会の主な意見について

---

##### テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、高齢化、人口減少、生活道路、防災などがあげられた。
- ・ 高齢化に関して、住民の高齢化に伴い施設入居者が増えたことによる空き家の増加、農家の廃業に伴う休耕地など空き地の増加があげられた。また、コミュニティバスの便数が少なく、免許を返納した高齢者にとって不便である点などがあげられた。
- ・ 人口減少に関して、若い世代が県外などへ進学・就職したまま、地元には仕事がないため戻らず、区長をはじめ自治会の役のなり手が不足している点や、少子化により小学校の統廃合が懸念される点や子供会や祭典といった地域文化の継承に関する問題などが挙げられた。
- ・ 生活道路に関して、狭隘な道の拡幅や通学路の安全確保などがあげられた。
- ・ 防災に関して、河川整備や土砂災害への対策など、治山・治水に関する課題が取り上げられた。
- ・ その他、移住者の一部のマナーの問題などが挙げられた。

##### テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 主に移住・定住、防災に関する意見がみられた。
- ・ 移住・定住に関して、地域の空き家を有効活用して移住・定住を促すことや行政のバックアップによる移住・定住促進などがあげられた。
- ・ 防災に関して、河川氾濫など水害時には集落が孤立する恐れがあるが、住民の防災意識が希薄なため、意識を高めていくための取り組みなどがあげられた。

##### テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

###### 【観光】

- ・ 富士山の景観を活かすことがポイントであり、沿道の草刈りなどを進めてほしい。
- ・ 富士宮市に滞在するための宿泊施設がないので、整備してほしい。
- ・ スポーツの全国大会を誘致し、富士山が見えるまちであることをPRすると良いのではないかと。
- ・ インバウンドの人気がありそうなスポットがあるが、アクセスが悪いため、整備が必要である。
- ・ 浅間大社へのメインロードとして商店街を整備できないか。浅草の浅草寺のようなイメージである。中心市街地

が活性化すると周辺へも波及する。

#### 【幹線道路】

- ・ 市内の幹線道路を拡幅することで、中心市街地などへのアクセスが向上し、地域が活性化するのではないか。

#### 【生活道路】

- ・ 側溝に蓋をするなど、狭隘路の改善をしてほしい。通学路が狭く、危険である。
- ・ 道路の拡幅をお願いしたい。特にボトルネックとなる交差点は早急に改善が望まれる。

#### 【治山・治水、防災】

- ・ 浸水区域や土砂災害警戒区域があるので、その対策をしてほしい。
- ・ 避難経路に浸水区域があるため、避難場所が分散するよう、何力所か整備してほしい。
- ・ 土砂災害警戒地域では建物を整備するよりも、安全な高台へ車で避難できるよう、駐車スペースを設ける方が良い。災害時以外は、景観の良い観光スポットにもなる。
- ・ 家屋の耐震化や家具転倒防止などの対策を進めるにあたり、市の支援が必要である。

#### 【防犯】

- ・ 毎日のように防犯無線を通じて注意喚起があるため、不安を感じる。そのような不安がないよう、例えば駐在を増員するなど、対応をお願いしたい。

#### 【居住環境】

- ・ 市営住宅を整備するなど、移住・定住に取り組んでほしい。
- ・ 地区外へ転出した人たちが暮らしやすいよう、道路、学校、医療、公共交通などを充実してほしい。

#### 【コミュニティ活動】

- ・ 区民館が日常的に利用されていない。市の主催する健康講座を開催するなど、有効活用が求められる。
- ・ 地域についての相談や依頼をする場合の窓口となる団体を明確化していただくと良い。
- ・ 自宅に引きこもってしまう高齢者も多いため、シニアクラブの活用や散策路の整備など、外出を促す取り組みが求められる。

#### 【消費生活】

- ・ 大型チェーン店やコンビニが移動販売をおこなっている。店舗で購入するよりも割高であるが、移動販売を楽しみにしている住民も多く、続けてもらいたい。

## 2 第2回地区別懇談会開催結果報告【大宮東・大宮中地区】

### 【開催日時・会場】

日時：令和6年7月2日(火)19:00～20:30

会場：富士宮市役所 特大会議室

### 第2回地区別懇談会の主な意見について

---

#### テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、少子高齢化に伴う自治会活動への影響、空き家・空き地、防災などがあげられた。
- ・ 高齢世帯の割合が増えており、区長をはじめ自治会の役を輪番で担うことが難しくなっていることや、高齢を理由に脱退する世帯が増え、今後の自治会活動への影響が懸念されることなどがあげられた。また、少子化により、子供会の活動ができなくなっている現状が上げられた。一方、分譲住宅や集合住宅の整備に伴い住民が増えている区もみられるが、自治会への加入率が低いことが課題としてあげられた。
- ・ 高齢化に伴い、空き家や空き店舗が増えているが、管理が不十分な物件が散見されることなどがあげられた。また、生鮮産品など最寄品店舗の廃業に伴い、買い物難民が発生していることがあげられた。さらに、農地や茶畑、山林が管理されず、荒廃地となっているところがみられ、ごみの不法投棄や病害虫・鳥獣害などの問題があげられるとともに、道路への倒木による交通への支障などがあげられた。
- ・ 防災に関して、個人情報との関係から要支援者の情報が十分把握できず、災害時の救援における不安などがあげられた。また、土砂災害の懸念がある避難路への対応や老朽化した橋梁、発電所の水路決壊への懸念などがあげられた。
- ・ その他、コロナ禍で中断した自治会活動をどのように戻していくかといった課題があげられた。

#### テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 自治会活動の維持に向けた提案がみられた。30～40代の共働き世帯も参加しやすいよう、活動の一部外部委託や、LINEなどのアプリを活用した連絡網の構築など、負担をできるだけ低減させる取り組みがあげられた。また、お祭りや敬老会などの行事活動を通じた住民同士のコミュニケーションについてもあげられた。
- ・ さらに、生活道路における通過交通への対策やスポーツ活動を通じた若年層の転出抑制、防災対策などがあげられた。

#### テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

##### 【観光】

- ・ インバウンドの観光客が増えてきているが、宿泊せず立ち寄るだけなので、滞在し、回遊するようなまちづくりを官民で進めてほしい。
- ・ 長者山田貫神社を活用できないか。勝負事にまつわる神社で平日でも参拝客が多い。
- ・ 富士宮駅から富士山世界文化遺産センターに行くための多言語案内標識がない。商店街に誘導するような回遊ルートとあわせて整備できると良い。

- ・ 東京から富士宮駅まで直通電車を運行し、浅間大社までの道を整備することができないか。三嶋大社の取り組みが参考になる。

#### 【商業】

- ・ 静岡富士山世界文化遺産センターや浅間大社といった資源を活かしつつ、空き店舗活用を進め、シャッター通り商店街を「にぎわいのあるまち」にできると良い。

#### 【農林水産業】

- ・ 耕作放棄地対策や宅地転用許可など農地の活用が望まれる。

#### 【労働・雇用】

- ・ 人が住みやすいまちづくりと産業振興を同時に進めることで、若者が暮らし続けることができるようにしてほしい。
- ・ 若者が転出していくのは、まちに魅力がないか、仕事がないかのいずれかである。経済的な面は大きいので、産業振興が大切である。
- ・ 若者が地元に着住するよう、企業誘致をしてほしい。

#### 【医療】

- ・ 富士宮市立病院に緊急手術ができる外科がないため、市内で緊急手術が受けられるようにしてほしい。

#### 【幹線道路】

- ・ 中部横断自動車道へ接続する道路の使い勝手が悪いので、都市計画道路の整備をしっかりと進めてほしい。

#### 【生活道路】

- ・ 身延線により踏切渋滞が発生しているため、高架化など改善を進めてほしい。
- ・ 右折帯を設けるなど道路環境を改善してほしい。

#### 【治山・治水】

- ・ 富士山の噴火対策が望まれる。

#### 【防災】

- ・ 市から自治会の防災担当向けに避難所の運営についてレクチャーがなく、防災訓練も開催されていないため、災害時に不安である。
- ・ 災害対策を地域だけで進めるには限界があるため、もう少し市に積極的に動いてもらいたい。

#### 【消防】

- ・ 富士登山で事故が発生すると、富士宮市の消防が対応しなければならず、その間、救急車両が出払ってしまう。市民の安全を守るため、車両を増やすなど対応してほしい。

#### 【公共交通】

- ・ 公共交通機関が不足し不便なため、充実が望まれる。
- ・ バス停に2~3人座れるアーケード付のベンチを設置してほしい。商店街を利用する高齢者が気軽に休めるような場所があると良い。

#### 【コミュニティ活動】

- ・ 親世代の地域活動に対する理解を深め、子供会などの活動への参加を促すことが求められる。
- ・ 敬老会の活動に対する補助を子育て世代への補助にまわしてはどうか。
- ・ 公民館が老朽化しているため、地域の防災拠点と学習拠点になるような施設を区単位で整備してほしい。
- ・ 高齢化が進むなかで、自治会の枠組(区、町、班)を維持するのもそろそろ限界なので、見直しが求められる。

#### 【義務教育】

- ・ 南部地域に中学校が無いため、近くにあると良い。

#### **【スポーツ・レクリエーション】**

- ・ 高齢者の健康維持を図れるようなスポーツ活動をするための施設があるとよい。
- ・ 富士市に比べてスポーツ施設の整備が進んでいない。地域ごとに多目的に利用できるスペースがある公園やスポーツ合宿できる施設を整備するなど、スポーツをテーマとしたまちづくりができないか。

#### **【地方創生】**

- ・ 婚活イベント等を進めてほしい。

#### **【市民協働】**

- ・ まちづくりに対して、市民と行政が対話し、市民一人一人が責任を持って取り組むことが重要である。
- ・ 富士山と浅間神社を活かした、市民にやさしいまちづくりを推進してほしい。
- ・ 国際文化都市という言葉は抽象的なイメージのため、具体的に分かりやすくしてほしい。

### 3 第3回地区別懇談会開催結果報告【上野・北山・上井出・白糸地区】

#### 【開催日時・会場】

日時：令和6年7月26日(金)19:00～20:30

会場：上野会館

#### 第3回地区別懇談会の主な意見について

---

##### テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、土地利用規制の見直し、地区全体の高齢化、耕作放棄地、自治会活動に関する意見があげられた。
- ・ 市街化調整区域のため、住宅開発や企業誘致が進まず、その見直しに向けた要望や、農地転用による宅地整備に関する意見があげられた。
- ・ 若い世代の転出が進み、地区全体が高齢化する一方、交通の便が悪いため、買い物を移動販売車に頼っている現状や、農家の高齢化が進み、今後、耕作放棄地が増加することへの懸念があげられた。一方、新規就農を支援するための農地整備や対外的なPRの展開などの提案がされた。
- ・ 区の役員の仕事が多岐にわたるため、若い世帯だけでなく、高齢世帯も役員を担うことを避けるようになっていく現状があげられた。消防団や神社の祭事の担い手がなく伝統行事や伝統文化の途絶に対する懸念があげられた。
- ・ 一方、区の役員の負担をできるだけ軽減するよう、グループLINEを活用した会合や回覧版の案内の取り組みがあげられた。また、時代の変化にあわせて地域における区の役割の見直し・改善を求める意見があげられた。

##### テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 就農促進に向け、「う宮～な」のようなファーマーズマーケットの整備など、稼げる農業への転換に向けた提案がされた。
- ・ 自治会活動へ若い世代の参画を促すため、地区運動会の開催など多世代交流による相互理解の促進や地元企業による地域活動への理解・貢献を促す制度設計などがあげられた。また、法規制による制約への対応として、特区制度の活用などがあげられた。

##### テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

###### 【地球環境】

- ・ カーボンクレジットを導入して市としての魅力向上に資するアピール材料とできないか。

###### 【生活環境】

- ・ ごみの清掃、回収の問題についてはもう少し行政として音頭を取ってもらいたい。

###### 【農林水産業】

- ・ 過去に実施した圃場整理により、分家住宅を建てることができないなど、足かせになっている。土地の有効活用ができなければ、今後、相続放棄につながる恐れがあるため、見直しが必要である。

### 【工業】

- ・ 市としての発展を考えるのであれば工場の誘致も重要である。

### 【商業】

- ・ 商店街が疲弊した街は繁栄しないため、歩けるまちづくりを目指すうえで元気な商店街が必要である。

### 【医療】

- ・ 産婦人科が少なくなっているため、子育ての面で不便を感じる。
- ・ 救急医療センターに専門医が常駐していないため、対応をお願いしたい。また、手術を執刀できる医師がいないため、育成・確保をお願いしたい。

### 【市街地整備】

- ・ アパートやマンションが増えているため、過剰な開発を避け、良好な都市環境を実現するようにしてほしい。
- ・ 市街化区域を広げて住宅整備を促すなど、人口拡大の余地を増やしていくのが良いのではないかと。

### 【幹線道路・交通網】

- ・ 小泉若宮交差点の渋滞対策が求められる。ヒト・モノの流れを円滑にする上で道路は重要であり、企業誘致を実現する上でも重要。

### 【防災】

- ・ 避難所で利用可能な自律型トイレを準備してほしい。能登半島地震ではトイレに困っていたという話を聞いた。

### 【コミュニティ活動】

- ・ 町内会長や区長の仕事の負担が大きく、自治会からの脱会の要因の一つとなっているため、負担軽減に努めてほしい。
- ・ 区としては宮おどりの踊り手を集められない状況にある。宮おどりが市全体のものになっていないと感じる。

### 【地方創生】

- ・ 上野エリアは、食料自給率が高く、水資源が豊かで災害が少ない安全なエリアである。歩いて楽しめるエリアとして遊歩道を整備するなど、上野エリアの魅力を向上し、広く周知していけると良い。
- ・ 移住者を集めることで、空き家や商店街の活用をしたり、魅力的な商品やサービスを開発したりする上での新しいアイデアを生み出すことができると良い。
- ・ 市内でも人口の多寡に格差があり、バランスが取れていないため、その解消を図る計画・施策があると良い。

### 【行政運営】

- ・ 住民票の交付など、住民サービスがどこでも受けられるようにしてほしい。市民が均質なサービスを受けられるようにし、上手にアピールすれば、外からも人が集まるのではないかと。
- ・ 行政機関を市の地理的中心部に移動させることで、市の全体像が変わるのではないかと。

## 4 第4回地区別懇談会開催結果報告【大富士・富士根南・富士根北地区】

### 【開催日時・会場】

日時：令和6年8月7日(水)19:00～20:30

会場：大富士交流センター

### 第4回地区別懇談会の主な意見について

---

#### テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、自治会活動、高齢化、空き家・空き地にする意見があげられた。
- ・ 集合住宅や戸建住宅の建築が進み、人口は増えているものの、新たに転入してきた住民が自治体に加入しないといった問題や、長年生活している住民との交流を促す場を求める意見がみられた。
- ・ また、自治会活動に対するメリットを感じられず、区費を支払わなかったり、役員の輪番を嫌い脱会者が増えることで、さらに脱会者が増える悪循環に陥っていることなどがあげられた。
- ・ 住民は増えても、自治会活動への参加が増えず、子供会や老人会などの活動が滞ったり、解散するなどの実態もあげられた。
- ・ 一方、子供会の運営に対して、区の役員が直接関与せず、保護者を中心とした運営に委ねたところ、上手く運営されている地区がみられた。また、自治会活動の参考となるような成功事例集の整理を求める意見もみられた。
- ・ 外国人居住者が増えている中、言葉の壁から上手くコミュニケーションが進まず、高齢者とのトラブルが発生しているなどがあげられた。
- ・ 転入者が増えている地区がある一方、住民の高齢化が進む地区がみられた。
- ・ 近隣に商店がなく、公共交通も不便なため、免許返納後の移動手段がなく、買い物難民が増える懸念があげられた。また、移動販売車が巡回しているものの、品揃えが変わらず、利用が徐々に減っているなどの意見がみられた。
- ・ 一方、地区の高齢化に対して、見守り隊を結成し、定期的な巡回をおこなったり、保健委員が巡回するなどの取り組みをおこなっている地区がみられた。
- ・ 地区の高齢化の一因として、就職・進学等で転出したこども世代が戻ってこないことがあげられ、空き家・空き地が増え、獣害などの被害が生じているといった意見がみられた。空き家については、売却費よりも解体費の方が高く、解体の進まない一因となっていることなどがあげられた。
- ・ 今後の課題として、仮に定年が70歳まで延長された場合、地域活動に携わる住民のさらなる減少が見込まれるため、50～60代の住民を如何に自治会活動に参画させるかといったことがあげられた。

#### テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 人口減少や空き家の問題は、個別に考えるのではなく、全体で解決策を議論する必要があるという意見がみられた。
- ・ 自治会活動に対する無関心層が増えているが、若い世代は、地区内の縦のつながりだけでなく、横のつながりもないため、気軽に参加できるイベントを開催し、交流を促したり、こどもを参画させることがきっかけづくりにつな

がるといった意見がみられた。加えて、イベント開催による費用負担に関する意見もみられた。

- ・ また、自治会活動に参画することで役をやらされるといったマイナスイメージの払拭や自治会活動のメリットの訴求などの意見がみられた。

### **テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること**

#### **【自然環境】**

- ・ 間伐など山林の適切な管理ができていないところがみられる。雑木を植えて天然林に戻すなどの森林計画が求められる。また、道路に面した畑に杉や檜を植栽しているが、倒木や冬場の凍結など危険なため、道路から一定距離をおいて植栽するなどのルールづくりをお願いしたい。

#### **【農林水産業】**

- ・ 耕作放棄地は景観上好ましくないため、必要に応じて管理すべきではないか。スポーツ公園などとして有効活用されると良い。

#### **【観光】**

- ・ 紀元前からある古い神社など文化遺産を上手く活用できないか。

#### **【労働・雇用】**

- ・ 若い人が働く場所を確保してほしい。

#### **【公共交通】**

- ・ 生活利便性を確保するため、交通網の整備が求められる。

#### **【生活道路】**

- ・ 市役所へのアクセスが悪いため、富岳館高校と幹線道路(東高の南の道)の間の弓沢川を橋で繋げられないか。
- ・ 小泉地区は、富士市への通過交通が増えているため、道路整備を進めてほしい。
- ・ 道路の拡幅や歩道の整備など道路整備をしていただき交通の利便性を良くしてほしい。

#### **【防犯】**

- ・ 交番による巡回が少ないように感じるため、手厚くしてほしい。

#### **【防災】**

- ・ 土砂災害危険地域に指定されている区域があるが、被災状況によっては避難所が使えない恐れがある。安全確保に向け、入念な検討をしてほしい。

#### **【住宅・住環境】**

- ・ 市街化調整区域における分家住宅の規制を緩和するなど、人口流出抑制の取り組みをお願いしたい。
- ・ 市営住宅の維持管理をどのように進めていくか、明確にして欲しい。粟倉団地には年金暮らしの高齢者が多く、廃止されると行き場を失う恐れがある。

#### **【コミュニティ活動】**

- ・ 人と人のつながりができるようなコミュニケーションの場を作る必要がある。
- ・ 市から提供される紙の資料は相当な量になる。広報ふじのみやを含め、デジタル化できないか。
- ・ 役員の高齢化が進み、川の清掃など危険度が増しているため、改善が求められる。
- ・ 住民が自治会に加入する意義・メリットを明確にする必要がある。
- ・ 自治会の改革が必要である。女性役員が少ないので女性の起用を増やせないか。
- ・ 少子化で子供会の会員が集まらなくなっているため、子供会事業補助金の人数要件を緩和してほしい。
- ・ 青年会などのコミュニティ活動に対する補助をお願いしたい。

**【地方創生】**

- ・ 人口増加への対応を考えてほしい。若い人がどうすれば来てくれるか、また、子育て世代の負担軽減も考えてほしい。
- ・ 今後、人口が減少していく中、産業誘致や観光都市の取り組みを進め、移住者が増えるよう、政策を考えてほしい。空き家等も活用しながら、転入人口が増えるようにしてほしい。

**【その他】**

- ・ 計画について、「現状値」でどれだけ達成しているか明示してほしい。
- ・ 富士宮市が今後どこを目指していくのか。観光へ注力するのか、工業へ注力するのか、明確なビジョンが必要ではないか。

## 5 第5回地区別懇談会開催結果報告【大宮西・富丘地区】

### 【開催日時・会場】

日時: 令和6年9月27日(金)19:00~20:30

会場: 富士宮市役所 特大会議室

### 第5回地区別懇談会の主な意見について

---

#### テーマ①：地域の現状と課題について

- ・ 主な意見として、少子高齢化による影響、土地利用規制の見直し、道路整備、防災、自治会活動に関する意見があげられた。
- ・ 世帯数の減少にともなう地域活動の担い手不足への懸念とともに、区費の負担増などに関する意見があげられた。世帯数の減少に対して、区としての最低世帯規模を市がトップダウンで設定し、再編・維持を図っていく提案がされた。
- ・ 高齢化に伴い、草刈りや防災訓練など身体的負担を伴う地域活動への参加が難しくなっている状況が指摘された。
- ・ 市街化調整区域の見直しに関する意見があげられた。住宅開発や工場誘致を推進する上でも、市街化調整区域の見直しに対する期待がみられた。
- ・ 都市計画道路の未整備区間の整備推進に関する意見があげられた。地権者同意の得られている区間もあり、早期着手の要望があげられた。また、周遊道路など、インバウンドをはじめ増加する観光客の行動を踏まえた道路整備の必要性に関する意見があげられた。
- ・ 防災に関して、土砂災害警戒地域における避難所の見直しや他地域への移転に対する補助制度に関する意見があげられた。
- ・ 自治会活動に関して、子供会の運営に関する意見、役員のなり手の問題(輪番制、くじ引きによる任用)などがあげられた。また、スマートフォンで回覧版など区の情報を閲覧できる取組があげられた。

#### テーマ②：今後、地域で取り組みたいこと、取り組むにあたって課題として想定されること

- ・ 建立 2500 年を迎えるといわれる富知神社の活用に関する意見があげられた。
- ・ 各所の湧水を活かしたまちづくりや小規模水力発電など、水資源の利活用に関する意見があげられた。
- ・ 来訪者の一層の受入に向け、景観条例の制定をはじめ、行政主導による積極的な取組に関する意見があげられた。
- ・ 災害時、迅速に支援体制を整えられるよう、災害名簿の作成に関する意見があげられた。また、家具の固定や耐震診断などに対する助成に関する意見があげられた。
- ・ 市街化調整区域における農地活用策として植物工場を誘致し、日本一の地域を目指す取組があげられた。
- ・ 空き家の処分に関して所有者の合意が必要となるため、病気や高齢化で処分ができなくなる前に、必要な対応について学ぶ場の提供などに関する意見があげられた。

### テーマ③：富士宮市のまちづくりに期待すること

#### 【地球環境】

- ・ 太陽光発電施設を運営する外資系企業が、日本の法律に反する振舞いをするところがあるため改善を促すなど注視してほしい。

#### 【観光】

- ・ リニア開業を契機として、特急ふじかわを三島方面へ接続することを考えると良いのではないか。
- ・ 湧水という水資源を活かし切れていないため、全国的に発信していくと良い。
- ・ 鶏卵やジビエなど、やきそば以外の食の発信が重要。
- ・ インバウンドが増加しているので、多言語対応が重要。PRを担える市職員も増やすこと必要である。
- ・ アウトドア市場の拡大に伴い、キャンプ場の規模が大きくなっている。富士山の景観を活かしたもので集客につながっていることから、今後も需要を取り込んでいくことが重要。
- ・ 集客施設を整備し、インバウンドなどの観光客を積極的に誘致してはどうか。中心部と朝霧地区の接続を良くし、もっと人の流れが形成され、活性化につながることを期待する。

#### 【労働・雇用】

- ・ 働く場所を増やさなければ、人口は減る一方である。観光に予算をかけてもどの程度効果をあげているのかわからない。どのような産業に注力していくのか明確にしてほしい。
- ・ 製造業は自動化が進んでいる。アニメ産業やIT産業は需要が高まっており、人手不足と考えられるので、自然の湧水を活用したデータセンターを誘致すれば、雇用の場が確保されるのではないか。プログラマーは事務所を構えずとも自宅で作業ができるので、そのような人材を対象とした優遇制度を整えれば、富士宮の経済はもっと発展すると思う。

#### 【子育て】

- ・ 移住者を増やすため、こどもの学費等に関して補助を出してはどうか。

#### 【スポーツ・レクリエーション】

- ・ 市内に野球場、400mトラックがなく、大きな大会を誘致できないため、スポーツ施設の充実が望まれる。

#### 【市街地整備】

- ・ 富士宮市は面積が広く、水道やガス等のインフラの整備や維持管理にコストがかかる。できるだけ集約化し、コンパクトに生活するようにできると良い。

#### 【幹線道路・交通網】

- ・ 丁字路で終わる道路などボトルネックとなっている箇所を解消する。移動利便性は相当向上するのではないか。
- ・ 県道25号線(西町～芝川方面)の一部区間の整備を進めてほしい。市の西側の道路整備が遅れていると感じる。道路がもう少し拡幅されると利便性が増すのではないか。

#### 【生活道路】

- ・ 道路が本当に狭く、救急車や消防車すら通れない。側溝をなくして開放することに予算を使う等の取り組みが必要である。(

#### 【景観】

- ・ 電線や電柱のない富士山のビューポイントをやきそばマップとあわせて情報発信することは有用だろう。
- ・ 世界遺産センターから富士山が見えないときに、来訪者に対してサービス(無料や割引をするなど)を提供することも考えるとよい。

#### 【防災】

- ・ 今後、災害が多様化する中で、観光客へのリスク伝達も不可欠となる。富士山噴火警報が出た場合の適切

な情報伝達と行動誘引が必要である。

#### 【公共交通】

- ・ 身延線西富士宮駅と沼久保駅間の距離が長いため、中間駅の新設を目指してはどうか。鉄道の利便性が増し、免許を返納した高齢者の鉄道利用も期待できる。

#### 【住宅・住生活】

- ・ 住宅件数が増えないことが課題であり、市街化調整区域に住宅を建てられるようにするなど、移住者が増えるような仕組みづくりを実施してみてもどうか。
- ・ 農地転用による宅地利用について、地縁者だけではなく移住者にも適用できるようにしてはどうか。
- ・ 草木の手入れがされていない耕作放棄地の地主に対して、市より手入れをするよう勧告してほしい。
- ・ 高齢者が増えているため、高齢者住宅等の整備につながるような計画を立ててほしい。

#### 【コミュニティ活動】

- ・ Wi-Fi 環境が公共施設から無くなっているため、公民館で利用できるとよい。バス停などでもネット接続できる環境があると利便性が高まる。
- ・ 回覧板を電子回覧板にすることで区長の負担が抑えられる。郵便代や印刷費のほか配布する人的コストも削減できる。

#### 【地方創生】

- ・ 農業等で移住してもらえるような施策を展開してほしい。高齢化が進み空き地の運用に係る担い手が不足している。まずは移住してもらえるような環境を整える必要がある。

#### 【行財政運営】

- ・ 箱物整備については慎重な検討が必要である。維持管理にも莫大なコストがかかるので、負の遺産とならないようにしてほしい。

#### 【その他】

- ・ 配布資料にある人口減少の原因を分析し、どのようにカーブを緩やかにすることを考えるとよい。
- ・ 配布資料は、マイナス思考である。アンケートも同様である。市のポジティブな思いや将来像を資料やアンケートで示すと良い。
- ・ 長泉町など人口が増えているまちとの比較分析を行い、できることはチャレンジしていくことが重要だろう。
- ・ 総合計画の概要版をみると、総花的で抽象的なため、具体的な表現にして欲しい。
- ・ 10年後、富士宮市がどのような姿になりたいのか、記載してほしい。
- ・ 総合計画の一番の柱は富士山ではなく、人口減少と子育てとする必要があるのではないかと。